



# 「ジャムの日」の由来

1910年（明治43年）4月20日、長野県北佐久郡三岡村（現在の小諸市）の塩川伊一郎氏が、「苺ジャム」を明治天皇・皇后両陛下、皇太子同妃両殿下に献上したとの記録があります。

さらに、塩川伊一郎氏の技術が日本のジャム産業の礎となったと考えられることから、4月20日を「ジャムの日」に制定しました。

## 記念日登録証

日本ジャム工業組合 殿

名称 ジャムの日

日付 4月20日

上記の記念日を正式登録する

2015年7月27日

一般社団法人 日本記念日協会  
代表理事 加瀬清志





# 「ジャムの日」の ロゴマークのデザイン

「ジャムの日」のロゴマークは、容器にスプーンが刺してあるフォルムをアウトライン化し、その中に

「**Jam Day 4.20**」のロゴを入れています。

ジャムはもともと、季節の果実を少しでも長く味わうための保存食品として発達したものであり、容器に**ジャムの美味しさ・魅力・彩り**などが詰められている様子をこのデザインで表現しています。

